

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成29年10月26日 (2017.10.26)

【公開番号】特開2017-80452(P2017-80452A)

【公開日】平成29年5月18日 (2017.5.18)

【年通号数】公開・登録公報2017-018

【出願番号】特願2016-246014(P2016-246014)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成29年9月14日 (2017.9.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技媒体を受け入れ可能な受入口と、

前記受入口による前記遊技媒体の受け入れを検出可能な遊技媒体検出手段と、

前記遊技媒体検出手段による前記遊技媒体の検出に応じて、抽選情報を取得する抽選情報取得手段と、

遊技者に特典を付与する当りであるか否かの抽選を、前記抽選情報取得手段によって取得された抽選情報に応じて行うことが可能な抽選手段と、

画像を表示可能な表示手段と、

前記抽選手段による抽選結果に基づき、前記表示手段において演出パターンを変動演出として実行することで前記抽選結果を導出する演出制御手段と、
を備え、

前記演出制御手段は、

前記抽選手段によって取得された前記抽選情報に基づく抽選の結果が前記当りであることが報知される割合が相対的に低い第 1 種演出と、

前記第 1 種演出とは異なる演出であって、前記第 1 種演出よりも前記抽選の結果が前記当りであることが報知される割合が高い第 2 種演出と、

を実行可能であり、

前記第 2 種演出は、複数種類の演出パターンで実行可能とされており、

前記第 2 種演出が実行されるパターンは、特定演出を実行した後に実行される特定パターンがあり、

前記特定パターンにて前記第 2 種演出が実行される際に行われる前記特定演出は、前記第 2 種演出が実行されることを示唆する示唆表示を複数の段階に分けて表示し、前記示唆表示の表示が特定段階に対応する表示となった場合に前記第 2 種演出の実行を報知する演出であり、

前記示唆表示の表示態様は複数の表示態様で表示可能に構成されているとともに、前記示唆表示の表示が特定段階に対応する表示となった場合に前記第 2 種演出として実行される示唆発展演出の演出パターンは複数の演出パターンで実行可能に構成され、

前記特定演出において表示される前記示唆表示と前記示唆表示の表示が特定段階に対応する表示となった場合に実行される前記示唆発展演出とは対応関係を有し、表示された前記示唆表示と対応付けられた前記示唆発展演出が実行されるとともに、該対応関係は複数設けられており、

複数の段階に分けて表示される前記示唆表示は、前記示唆表示の表示が前記特定段階に対応する表示となった場合に実行が報知される前記第２種演出が前記複数の演出パターンで実行されえる前記示唆発展演出のうちいずれの演出パターンで実行されるかを、前記示唆表示が前記特定段階となる以前から認識可能に表示し、

前記特定演出において複数の段階で表示される前記示唆表示が前記特定段階に対応する表示となった場合の態様によって、前記抽選の結果が前記当りであると報知される割合が異なっている

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００２】

従来、遊技機では、抽選結果の報知に至るまでに表示手段にて種々の表示演出が実現され得る。遊技者は、これら種々の表示演出を楽しみながら遊技を進行することができる（例えば、特許文献１参照）。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００３

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００４】

【特許文献１】特開２０１０－７５５５０号公報

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００５】

ところが、種々の原因によって、表示演出に対する遊技者の興味が低減する可能性がある。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

本発明の主な利点は、表示演出に対する遊技者の興味が向上できる遊技機を提供することである。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上記課題を解決するため、本発明は以下のような構成を有する。

遊技媒体を受け入れ可能な受入口と、

前記受入口による前記遊技媒体の受け入れを検出可能な遊技媒体検出手段と、

前記遊技媒体検出手段による前記遊技媒体の検出に応じて、抽選情報を取得する抽選情報取得手段と、

遊技者に特典を付与する当りであるか否かの抽選を、前記抽選情報取得手段によって取得された抽選情報に応じて行うことが可能な抽選手段と、

画像を表示可能な表示手段と、

前記抽選手段による抽選結果に基づき、前記表示手段において演出パターンを変動演出として実行することで前記抽選結果を導出する演出制御手段と、

を備え、

前記演出制御手段は、

前記抽選手段によって取得された前記抽選情報に基づく抽選の結果が前記当りであることが報知される割合が相対的に低い第1種演出と、

前記第1種演出とは異なる演出であって、前記第1種演出よりも前記抽選の結果が前記当りであることが報知される割合が高い第2種演出と、

を実行可能であり、

前記第2種演出は、複数種類の演出パターンで実行可能とされており、

前記第2種演出が実行されるパターンは、特定演出を実行した後に実行される特定パターンがあり、

前記特定パターンにて前記第2種演出が実行される際に行われる前記特定演出は、前記第2種演出が実行されることを示唆する示唆表示を複数の段階に分けて表示し、前記示唆表示の表示が特定段階に対応する表示となった場合に前記第2種演出の実行を報知する演出であり、

前記示唆表示の表示態様は複数の表示態様で表示可能に構成されているとともに、前記示唆表示の表示が特定段階に対応する表示となった場合に前記第2種演出として実行される示唆発展演出の演出パターンは複数の演出パターンで実行可能に構成され、

前記特定演出において表示される前記示唆表示と前記示唆表示の表示が特定段階に対応する表示となった場合に実行される前記示唆発展演出とは対応関係を有し、表示された前記示唆表示と対応付けられた前記示唆発展演出が実行されるとともに、該対応関係は複数設けられており、

複数の段階に分けて表示される前記示唆表示は、前記示唆表示の表示が前記特定段階に対応する表示となった場合に実行が報知される前記第2種演出が前記複数の演出パターンで実行されえる前記示唆発展演出のうちいずれの演出パターンで実行されるかを、前記示唆表示が前記特定段階となる以前から認識可能に表示し、

前記特定演出において複数の段階で表示される前記示唆表示が前記特定段階に対応する表示となった場合の態様によって、前記抽選の結果が前記当りであると報知される割合が異なっている

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 0 】

以上のような態様によれば、表示演出に対する遊技者の興味を向上させることができる

。

【 手続補正 9 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 1 1

【 補正方法 】 削除

【 補正の内容 】